

天然ガス使用による川崎火力発電所3号機の運用開始について

- 川崎火力発電所3号機(認可出力19.8万kW)は、環境改善を図るため4月16日より燃料を灯油から天然ガスに転換する工事を実施しており、6月14日よりの運用開始を予定しています。
- この燃料転換により3号機の単位発電量あたりのCO₂排出量は33%削減となります。
- 川崎発電所全体の単位発電量あたりのCO₂排出量は、既に達成している2005年度目標30%削減(1990年度比)に加え、2008年度目標である40%削減を達成できる見込みです。
- 燃料転換工事による発電機出力の変更はありません。
- 当社の自営電力は川崎火力発電所65.5万kW、信濃川発電所44.9万kWであり、自社で使用する電力量の約60%の電力を賅っております。

川崎火力発電所構内平面図



川崎火力発電所設備一覧(燃料転換完了時)

	1号機	2号機	3号機	4号機	合計
認可出力 万kW	14.42	18.74	19.84	12.50	65.5
発電方式	複合サイクル			汽力	
使用燃料	灯油	都市ガス	天然ガス	重油	
熱効率 %	39.0	44.4	46.4	36.3	